4、 間舎及貨物金運搬等所は完成しおる。貨物の取扱 大型的一八〇車を収容し倉 東は一〇〇年一棟在り 東は一〇〇年一棟在り

P!* 本年より明年へ練越在庫 三"、100日 (約 一大〇単)

る陰暦二十五日の切日迄に

れ、三七九回

(約三、七一五章)

い。昭和八年新京使用數量 1一二、八二九前 (約五、七七大車) 本等 安東輸入は主さして製 材品書材一郎の輸入品は製

月廿二日視察

拉賓線狀况回

中年中本対帯抵に極まされた。 ・ たの如く三千二百キャので、たの如く三千二百キャので、たの如く三千八百二十九キ を(五千七百七十六章)さなつてもたが、今年は果してきのであるが、今年は果してきのであるが、を申は果してきのであるが、き調査してあるが、き調査してあるが、き調査してあるが、き調査しているの情要がある機をで、昨日半の情要がある機をで、昨日半の情要がある機をで、昨日半の情要がある機をで、昨日半の情要がある機をで、昨日半の情要がある機をで、昨日半日本の情要がある機をで、昨日本の情報には、

4、昨年末桁東在庫 一二、大〇〇間 (約 五八〇本) 果計 1三四、四〇八

税改正に

イン新京者 れたる分

一段他地方に輸出さ

掛聲ばかりの

不材消費調

今年も相當の余融

合計 二二、八〇八同 (約一八一八二章)

世出間情况は悪吐動外輸川・純瀬正月を憩へて本月上旬の特 を選の五十 1000 下りで出廻りも不振 一萬丰 T

村品賞鑑は船んご原本丸角 村はます (建築設置 開本 七:000章 日級 原本 七:000章 日級 原本 1:00章 日級 原本 1:100章 計 安東方面より 日松 製材 1:100章 齊々哈爾へ

を合し原木計算九に五〇〇

増發圖門へは延長 地洲國航空郵便の**發**展 三、 同价级(火/木、土) 一週三 大型ミーマーマルハ



人などが、その大部分をしたりするだしも既ながで、苦力を まだしも既ながで、苦力を を水液物の行敵をしたりす 歌ばかりであった。 持つてあるるばかりで つた椅子にしたれ込んで、順脚と うするつしりだ!! それくらるの事が出来ないで、と いて、西野の取り人間であった。 しつかりし

がにはまた、一郎の歌歌 がにはまた、一郎の歌歌 がにはまた、一郎の歌歌 そして彼の手は、緑い概を配う るので、腑にほてつた臓へ、まと 目玉を刺き出してゐる。 もに機火をあびてある歌は、まる の順関の雌に、まだ城橋な一人 今夜を弾に依つて酒を明つてる

左右にウンと語ん要つて、じつと

京朝日新聞

具一切

加藤葬儀社

東京の大学

を かっとして、焼みしさにブルー (動)の時間の時間の間に、まだ場種な一人 10年の中の日本

X X 000

(荒川芳三郎青)

住

酒

命谷

時計画

側中の産業組合は个計

ない。北端方面より 紅松、原木 計 計 ・ 大連方面より

杉丸太真伽

市の門地方面輸出しつ。八〇〇年 一日の門地方面輸出しつ。八〇〇年 非理論任するもので見られて 心臓の事でなつて呼るが現在 の機では総合に於て滅場一致 の機では総合に於て滅場一致

大田 本れて、その様ン方の山 本れて、その様ン方の山 では三方を

そして、その夢心のはた

つたばかりであつた。

そのは、突然火の付いたやうに、

で、どうやら世間並の割けさに入

製粉會社 物が出来てゐた。

八〇〇車新京使用可

でしまひさうな、質験な も動物が、ならないので で、それがちゃうど そして、実施に住 支那人機有の果然

十戸足らずで、それが地 としたあらしでも楽や 切つてあるとの部窓の人間どもは、動れ 人をやつてゐる歌といふ別の歌か て來た。それに思って、動るやう な男のとがり取らいえて吹る。 て、一向無にも留めないのであつ それは、奥から三統甲の大道町 は、無明 か」といったやうな概をし

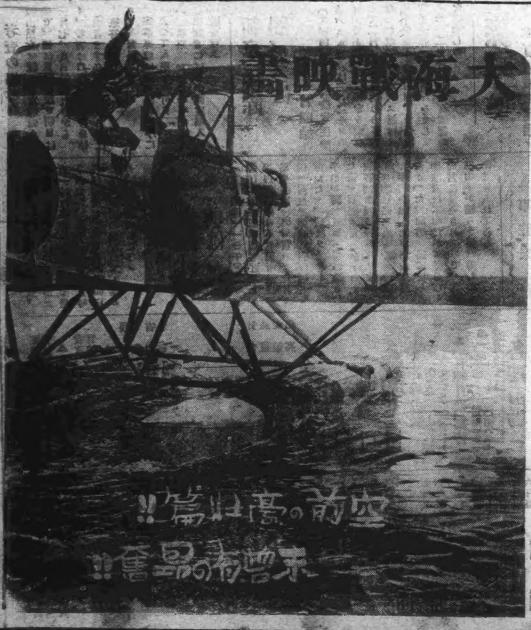
下さい。 東電バス内の接を棚を御刊用 東電バス内の接を棚を御刊用 古典唯二丁目

新京、廣告計 関東高別研覧が文明内電話三 での二番音を選列二丁目二七

金牌 新京公司 鹿じます し金融は多少に不拘約租款に 取引迅速正確。取労極秘。但

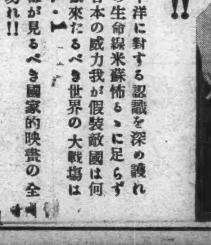
神川 の数名人 神神希佐の数名人 神神希佐の数名人 神神希佐 は帰日館で、電話三人〇二番は帰日館で、電話三人〇二番 やけらのかにのみだっちゅうにのみだってのが発揮を診 中央薬店 日州町電二三八七巻城浦社 電電売交番 二光 社 映上夜畫りよ日





同胞よ!! 激と昂奮の頂! 人間の死の闘争だ決死的な胃験撮影は感怒濤逆卷く太洋の眞只中に餓へる虎鮫と 日本の太平洋に對する認識を深現等が海の生命線米蘇怖る。に現る來たるべき世界の大利が假装敵 九三六年怖る **教皇日日新崎社別引券は潜上九十銭を七十銭に落下七十** ツーナーナショナル特作を確認日本版の 日満人全部が見る 脱見逃す勿れ!! タイガー 新京日日新聞社後援

エドワード、ロビンソン・リティー・アーレン主演 ゝに足らず!!





は米の平仮切下に耐し次の如「偏京崎通」貿易集者が開で に影響を及ほすが加き事は もが之が米園内物價に直ち をが之が米園内物價に直ち 四割一分切下けは現在の企 でも今日の顾内的好酬が頼く限の財業監督は富分安定を持續し得べく X税引上、を持續し得べく X税引上、を持續し得べく X税引上、を持續し得べく X税引上、を持續し得べく X税引上、

弗價切下げの 満洲金融界への影響

電然なここであり、また低田成中銀副總裁談― 経済的効果を果け得られるに強想せられたさころであるが、平質引下けによる形のなる程度の か速断するを許されない。 高橋蔵相が

定の報道に對し山成副總裁は末蔵り平仮切下幸四斛一分決

荒木前陸相

熱海に向ふ

米國政府が昨年版行した兌

臺鮮米専賣を語る

米價對策指針として注目さる

あるうの米國の平價切下け 日成するかは興味の中心で

動向は國内兌換を停止。國 る。現在の頻階金融界のには水分に

日印會商慘敗に鑑み

會

商

せま

る

民間態度强硬

时し五弗二十六セントで北 スペレート五卵前後なるにたもので、現在の英米ノローオンスを二十五郎でなし を中心に激烈なる國際監替 にはなるまいが、今後英学大いなる髪動を興へることであると、 本天の袋莊業者は何れら、 「華天國通」 流洲曲の幣制統 「華天國通」 流洲曲の幣制統 一以東市内峻莊業者は何れら 素顔に之が駒狀を其陳し、債 常局に之が駒狀を其陳し、債 常局に之が駒狀を其陳し、債 のは密金監督、有金貨付は現 日

新京磯道事務所勤務を命す ・ 事務員 小幅 繁次 哈市總穀事務所勤務を命す ・ 事務員 小野寺十寸積

正月の決勝期を目前に控へ前一敗軒に逃ぎず、加ふるに奮 が陸海軍用相の廃見加行 を軍の一場を作る労へは只 を軍の一場を作る労へは只 我空軍の現勢如何!

5本會議

貿易業者方面觀測

鐵鐵建設局斯原分所 鐵鐵建設局工事課 李務員 森 **建雄建設局新京分**所

近で匪城に勤はれ促の不良箇所監験の不良箇所監験の不良箇所監験の不良箇所監験の不良

福津建设事務所動 新京地方事務所

技術員 西畑 正倫

十七才未補の者に限る

願書提出箇所及

の他は常該県校へ橋州のとさ鞍山高女朋校準備委員會院を

四、期限

● 一日午前七時等チャル日午後九時二十五分等哈市から後九時二十五分等哈市から後九時二十五分等哈市から後九時二十五分等哈市から

▲笠大佐(少兵第〇〇〇除長)

人事往來

1回~ 完善分

特別委員會設置される

外人財産に

田戦量を基準さる。 田戦者を基準さる。 田戦者を基準を 日英會商特別委員会を 日英會商特別委員会を 日本のでは、第三国市場協立を 日本のでは、第三国市場協立を 日本のでは、第二国市場協立を 日本のでは、日本のでは

年三月卒業の見込ある常小原校卒業した者若

満洲國は責任を持つべきか」

(管行少佐(領東軍司令部)二日年前九時命乃班(名古屋)

大阪三品

特は車中朗らかにたの如く聴 熱源に向ひ、同郷飯戊病院で 熱源に向ひ、同郷飯戊病院で 熱源に向ひ、同郷飯戊病院で

(東京國連) 一日政友會の交換を行ふならば、この際微温 師を行ふならば、この際微温 師を行ふならば、この際微温 がならのさせず事質素を採用 すべきである」で述べたこと

カルカフタ支店長

こさになつたがご等民間襲者

るべき日英倉商の結果が我園 は日印書館の修敗に鑑み。來

一、今回の日印書商は全間的 敗北である、日英書面は其 重大性に鑑め一層の注意さ 或心さを必要さする 一、昨年四月東京に明確の官 氏協議者に財策さして決定 した搭點を中心さして之に

紡聯會が

→ 貴衆兩院に近 く意見事

を確立するため二日東京に日

開催される日英倉商を前にし

めて強硬態度に出るものさ観 別なる影響を警戒し、大嬰 際貿易取線に與へる惟大且つ

(東京間語) 近くロンドンに

米

日米海軍

會議開催を考慮中

に依れば

加味して。日英音頭阿骰を日印鑑定成立後の新情勢を

信を進めてゐる。 は目前に迫り常業者は は目前に迫り常業者は

一分の平板切下りを断行してした消貨を定置であり世界を翻界第一の金保有量を現る単して四割

「東京総通」三井物産員動

ス、ワシントン特派首の報道

衆議院豫算總會

五日まで延長繼續

対区全部の程言を許すこさは 出来ないので本日の質問者が 間さするとで、個慣例により 間さするとで、個慣例により は、分科會を一日短帽するに

さ沈の如く、公債を製へるここ学の加しであるなご・職相を皮肉も、等時十七分休憩で中後一時再開、政友の正出鋭での出出家吉君よりを皮肉の、等は十七分休憩ででは、単純の八田家吉君よりにつき質型。更に副詞の風見

「大阪國通」」一日東京に開催 される日英會商職深官民協議 はいよから抗争手段の具 体化をなるす。日印間の商 体化をなるす。日印間の商

空者が残り、明二日だけでは 十名、政友會二十名の質問者 十名、政友會二十名の質問者

大体意見一致した

針で魚でも釣つてみやり 何さも言へない、眞直ぐな 同さも言へない、眞直ぐな

すものであるさして各方面か けものであるさして各方面か

二片物產

[ニュー=ーノー日設園過] 一九三五年の第二次ワシント 上海軍會翻は現行比率の變更 を標榜する日本さ、從來の五 五、三の比率維持を主張する 英米開闢の對立をめぐつて早 くも異常な混亂を強想されて るるが、ニューヨークタイム

技数ク月以内に日本で指軍 側を飾る掛ける目的を以て 側を飾る掛ける目的を以て

三、一九三二年の我嗣金輪再 鉄上前の数ケ年を基準さす 数世紀定、價格協定を英 の数は主張するか、共闘は新 然反射し一九二三年度の輪

で紡績場合會では之意見養作成。近く損害 に提出するさ

支店長級異動

經濟欄

大阪棉化

海外經濟

協議會に臨む

た後、勝動たるペラ問題を 表の意見を全部的に醋取し 表の意見を全部的に醋取し

「天津崎崎」 天津の名 社は昨年来營業不振い を求めつつあつ が端 第10 北洋は千芥百を実 が乗した。 恒原は断下 休業した。 恒原は断下

「東京政通」 条納院 (東京政通) 条納院 (東京政通) 全日の (東京政通) 全日の (地合 で前田 医るため、 今日の (地合で前田 医るため、 今日の (地合 で前田 を引きする (年の では 前五日 | 近長 の (大) を引きる (大

衆議院豫算總會

我(國回)さ中村権男君(國同) 発育者(政)大阪飛行協問領風見章

年後の操算機會に於ては正出

紡績聯合會の態度

二大紡績工怎 恒源、北洋の

逐には

滿洲國旅券檢查

新宗永楽町

不逞ポーイ 滿鐵々道部

島主嶽地下道新設の件

御用命は 御菓子。 THEDM-KY

販製菓

と患者。

大典の報導記者團 自六七十名か 理絡傳令を完全にするため 首都警察廳で協議

6同月末日まで、二切が二月一日か首都警察機では大臭の警備工 平格的に警戒 けふ第二回警備協議 製。徳兵隊なごの

な替戒を行ふ事さなつてゐる で計画されつもあるがは 共登値しを爲す可く當地居留民間 制實施の三月一日種々の配念(天津一日菱國通)議門國帝

つて第二期に入つた

近く

既に第一期の替備工

てるた肥首催紅々さ黄秀波の中のさころ農安一帯を考い し 市民を脅かしてるたが日瀬智・地域内に象統張姿態が出没し が新京州島地並に城内に 副頭目天務こご李景春(三〇)

自動車、湯屋

質では同日帝側が

吉林からの

で名宛に配選されたが此の時で名宛に配選されたが此の時 重を知り范末屯に逃走した事 のきころ最近附属地の警備較 でころ最近附属地の警備較 川没まぎはを掘び大格間の末止め一日午後七時ごろ犯人が 玉蘚糊様に潜伏してるなを突泡室中に出張し同地附屬地語 法主任の指揮のドに研刑事は関モや火化たので同署では原司 除名の各地日浦要人のため

御盛儀を前に鐵道事務所

轉手古舞ひの有様

れも不足

数は三十六幅で円十二幅は現るが消戦金線の一等程台車総

分のさころに来いま言つた 毎果を博士に告白せよ。若 毎果を博士に告白せよ。若

独つてゐるが列車ホテル

朝八時間の郵便車巡吉林に滯 中後吉林で差出したものは型從來吉林差出新京宛郵便物で

○憲兵除本部に憲兵除。 備を終つたので二日午後一時

生)

十五稜を押取し宣氣揚々さ引逮捕しモーゼル祭鉄一挺彈丸

一旅館一般さして降

い。なほこの外自動車

教料量 中間は青柳さ佐嶋を 教料量 中間は青柳さ佐嶋を

勝英

を組んでるない

郵船阿蘇丸船員

眞正天然痘

つエもで夫

けさしました

代字直に編載した 私自演通常側は美上天然痘さ の日本郷船関係以

がいいる無特はして居ませ

は私の傍に立つて戦話をか勝美 佐御を呼出す時も中間

のご難は発が

1066

るうだが博士に告白したか

歌美 私はかけません

夜

連絡、体令にもそれなく胸章 連絡、体令にもそれなく胸章 **・いでゐるので□十日ころまで** 整製においてこれが問製を急 縣局中機で無線連絡を行つて非天さ赤條間の順報は從來錦 月一日から吉林酸午後六時三 が開始された以吉林を夕割五 時頃迄に差出されたものは霊 奉天赤峰間の 利きなつた 通信開始

匪首飛紅々 領事館署で逮捕

ぬるを自白した 一同署一に引致取回 院をみるに至り、利用者は大七日から帰属の中機を駐上し を天赤峰間を直接時份の短 さしなつたので經過時分の短 不穩出版物 怪文書に對し

峻嚴なる嚴罰を課す 警保局新制度を

なつた

を同学後四時まで亜市に且つ に十大日の三日間や前十時か を同学後四時まで亜市に且つ でつた する事になつてると に入るのでか に入るのでか

高野山では大駅不動律を動請 なの息災を祈淵する事になつ なの息災を祈淵する事になつ である。
日本の意義を歌がいる事になっ である。
日本の意義を歌がいる事になっ である。
日本の意義を歌 に行く簡単シュス足 で万金泰併けから庚 聖氏は一日午後二時

盛大を ▲日本権通金泰洋行店員は一日午後十二時体展三十五號 落し 盜 . 0

中布教使中布教使 ▲日本機通動家ピシ三階三十 一会球債十五国を一日平崎 九代ごのピル前昇経口で初 取された

さ 九年

制定

◆入船町二丁目二十三番地幅 ・ お自宅で整色★ーパ特価 ・ 六十頭を窃取された

ね。その補充数さしては奉天外でこれ亦々の需要に順じ象

大連から情用することを考慮であれてあるがこれまでも経費

一相之 は出来かね は出来かね はまきに職道事務所の経験か 6 お湯屋ご特約して湯券を設 には は出来かね は出来がね

勝美事件公判

「大連関連」 勝美夫人が姙娠してゐるこさを知つた中間はしてゐるこさを知つた中間は日七日診験を受けた結果姙娠和りに可能は一大神の子供でないこさが文置されたに拘らず中間は尚し責めるので、青神の子供でなく和茲であるこさを告白した性勝三輪子を怨んでゐたことを告白した性勝三輪子を怨んでゐたこ

勝美 保護院の佐軸さんを呼んでも6つて話したいこさがあるから来て欲しいさぎひました。電話は其後二。 三回かけました 裁判長

勝美 ハイ

数判長 佐藤が来れはやつつ 数判長 佐藤が来れはやつつ

裁判長 青柳にも枇杷をかけ 一日奉天で 朝刊のつゞきー

けて電話をかけた模様を尋ね

勝美 事實です 就利長 見玉は被告を保厚さ れて憤慨しい横に協力した さは思はないか

無軽 観り部なこさをしたさ 思ひます 楽の點を幾して閉廷した

影中

信用第二条門帝奉天千代田通三九

電話五二七〇

[1] 鳥羽洋行自動車用品部

仲が感かつたさりだが佐藤 裁判長 後告はその頃佐藤こ 思むさい上程ではない 日本の加く郷天國際グラウンド、リンクに於て全日本氷上選手権大者が開催されるが之を機會に十一日左の加く郷天國際グラウンド、リンクに於て日鮮の地が水上スピード競技大會

に對し、明日は愈よ青柳を軟料長 九月四日中国は被告

膨よ児行常夜の駅間に入る

勝美 九月五日夜巖たさ思ふ 間もなく空頃にひごい音が して中間が青柳を遅れて来 ました。二人を二階に上け ました。二人を二階に上け まって中間で青柳が日輪 せるのです。それで主人が 計も領域社員ではないか。 ムには大阪毎日便

慶大勝つ

血刀を操けた・繭ご主人が、上つて楽ました

裁判量 中間かあの時見玉が さめなっつたら青柳は下む 下さず殺してるたさ皆つた 現大作動砂架 4501 現大作動砂架 110470 現大作動金票 110470 Oke Sil

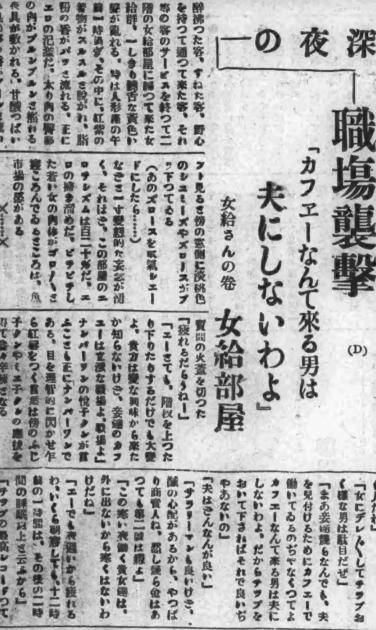
三日より七日まで 類常日日新聞 新京キネマ

一度お越しを願ひます 科學語 ー東氣分の 野 書は三人三〇巻 野

各国車「在庫豊富」東門自新京日本橋通九二電話IIIIIIB 鹿谷齒 和和 呼出まれるとは

呼京

にスイ實石 萬古ペンシル 鏡、双眼鏡 お常での N 六九四話電



おしても、十二時度しても、その後の二時

人ね、然し競ら金はあ から寒くはないわ

AC. 野 3

き短刀を持つて米たのだね 世様物件を示せば、 六月で御座るます

中臓の怒りを和けるために乾 (株養柳に電話をかけ酸頭した を返して欲しいさ言つたこ さも中顔の支持であるさ述べ 害する話の出来たのは何日判長 怠よ青柳こ佐藤を殺

数判長 七月三十日死見を分 挽したざりだが中間にた。 投密する犯案のなかつたとさ 野美は中職 3 協力して佐藤を 野美は中職 3 協力して佐藤を の卵を決する微妙な肌間にな の卵を決する微妙な肌間にな

こむうてみるも前の粉弾を受けることになり待に単語をかけることになり待に 裁判長 んでした。 実要水を砂山たんでした。 実要水を砂山たのがいせをかつたのだ

金銀細工

特計修理

行

八千餘八千餘

独胎の方法を無じたので長 被告は中国に言はれ

版が展開されること

五百米、千五百米、五千米一萬米、三千二百米・一

づつ ナームより各種目に四名

X高铁联审大X

【奉天通通】治安確立に伴ふ 市内の人口は目されば、 十二月末現在調査によれば、 合計三十九萬八千五百三十五 名で昨年同期に比し大馬偸の 増加であり、男二十五萬六千 に耐し女十二萬二千で、男女 の比率は益々高まり女日服り の登現金を示してゐる。調格 別に示せは満人三十九萬一千 百七十名。日本人六千五百五 十九条、外國人八百五名であ 心に觸れる 要はこれを否認し

妄題は核

脚类 聞きましたけれごも私 思つてるました やつつけるさ言つたさりだ

ラーは

五點。三點、但しまレー二點。一點、一點、但しまレー

衛州水上競技・田田の

双爾井質岡康二共演

器 長春座

爾次喜多

ご主人が追つて行きました 柳が暗下へ楽けらのを中値 便 タイガーシャーク館 エドリードロビュアン 主演 系譜逆く太郎の乗員中に職へ る成砂さ人間の死の争闘だ決 死的な胃除嫌影は感做さ昂書 の頂目 関リ券は階上九十段 を七十銭に階下七十銭に階下七十銭に

立つたやうに思ひます。

新京にも

忠無は脚ひに紛らせ、

でない。美村氏であるに使って、

砂州祭製公の一事が、既としても、対戦のかった

了茶を持つて残ったか、客は軽人

それへ置いて遊園数せ。彫分勝蹶

は御殿都が他門の外に吸へた。
「原内に、一切の最終を取って動した際の数が影響を製ぶもしく、表 人、精健中間を促って、伊豆宮の
「京都の製が影響を製ぶもしく、表 人、精健中間を促って、伊豆宮の
「京都の製が影響を製ぶもりまれます」
は衛殿を発掘める。

「松生、鮮り突然の事で、手順に

りひ、更に黄面目の原政めて関か

も間を呼んだる一颗粒は霜のむとて

もう対がに総配してゐるに、

有館せの画材を排出した。忠新

科 整 目 療 花外內 病科科科

赤兒 科

ゴ防セ

料ト

器タイ用

肛門病科

國都醫院

劫京永樂町三丁目

建築材料商 ① 天

老松町二丁目三

話長二九六五五

中であるのだ」

×免费看施修人用》

随意 入院

意思四大〇六番

だも其形の対抗し、大阪しても だも其形の対象と と言はれ、

て行った。

「コレよ、西を持てフ」

それが竹柴は、現在の主人を捨

柳郷が得った」

後变元

東東市本郷原駒込神明町三四〇

教養実験五人二三九日

硝子入並ニ塗装

歌館に 一番して、 能の配は立つ

「オ、節らつしゃるか……では要

配之版は世界、発展を製を超上 「紀生、大分表も取けました。 配なし、電影なが記憶と共感して、眼はお眠を……」

「風邪は無料の凝しの整の如く、かぜ位とあなどり捨ない。風邪は無料の凝したり、交肺炎となり遂には立派な肺病となる供は少くなり、交肺炎となり遂には立派な肺病となる供は少くなり、交肺炎となり遂には立派な肺病となる供は少くなり、受肺炎となり遂には立派な肺病となる供は少くなり、受肺炎となり変とは大変を表した。風邪にて困難さるる人は連想が新期である、コデレた風邪にて困難さるる人は是非試みよ、美價をカワセ又は郵便切手代形にて送り捨るるれば直ちに送る。

市內運搬村科運搬

丸正運送店

直扱の運搬は

電話三八七八番へ!!

東州師甲斐溪治創製

いねつしんざい

硝

鐵

塗

(四)

断然お

繞

服を繋ぎんとする人々。 トラ経の支御を続じ、之が規画 で、登起の支御を続じ、之が規画 (百六十三)

井、鬼服のな、死を難して戦か を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 を持ちしてみた。 三百階候を仰って、間帯山で戦 2000

の題りの倒自由、公卿の優遇など、 略種観な既で、 三百種後中に た。略種観な既で、 三百種後中に けれども未だ親職は、統川勝城 合はない機関……ア・末輪もしき 「スッ、 男 たく腹壁」 は其際 明より便町へ作り出まする何。で まつしゃらぬ。マーマ家なとこ 『オトそれで可しの動戦は西を飲

既すとまでには立致らなかつ

●七余の人 剛級果斯に高事 拾しる口を行へば帯を招く八白の人 他を敵災し巳を

する既婚婦りを知つてゐる。 野く なんます! 「奥村氏、即返答は今が今と申し 歌を述べてゐる中、較がは去った。 ては如何と存する。明日機町の間

● 江黄の人 身心を打ち込みここので坤が吉 一六白の人 四邊に氣を配り 費さんより現実に力を載せ、四縁の人 療規の事に券を を得がたま日

のを聞き中落ち付あれば古

大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大連支店 東路四二三七多

●一白の人 草本熟開を得て ・一黒の人、秩序を過た事間 ・一黒の人、秩序を過た事間

新京日日新開社

●九紫の人 真然 必嫌は廻り

甲を乙さ巳が音

風邪は萬病の源

. . 御料理有

石 泰山木局製材部 3 バラ ス

日本橋通六〇 五五五 举行

引起荷物學運輸

#

本溪湖石炭南鐵指定販賣

森自轉車商會

電路四八四九時

電は四九〇万

断髪をこらしたおもつきあるお座敷できりぞ宣動 高士顺三丁目

各

自轉車の

御用命は出

皆様の安心して買へる店良い自轉車を低廉に提供し

田支店

新 發 ンピオ 京 京 石 石 世界無比!! 譜レコード到着是非郷來店を川 六五四 委勞 託力 器二 期 東京話電 樂





辯護士 黑田 日滿民刑事訴訟、 田法律事務所



電話三四四五番

の切れば新二陣を示る

耐費本の流人等に依る卵樹 を表以來外の要定を見越し を表以來外の要定を見越し

「東京國通」 那平便切下による今後の兵替免透しに飲き三を銀行常務山室宗文氏は左の如く語つた
五十九仙〇大を以て一弗さするさいよ新しい弗を以て一弗さすれば美米タロスは軍に其情的に計出して現在の英米

拍務省で知らぬ間に軍部よ

2對する實業家の進出に桁相き関係である。

大いに参考に

(年前十時卅七分開音。 政友

高橋藤相 私は金債限 度はれぬか

昨日の貴院本會議

の貯蓄力は増へて来たから で服めた根據取何、又頭民 で服めた根據取何、又頭民 で服めた根據取何、又頭民

らさて之を全部値へ吸取す たのではなく其逆である。 たのではなく其逆である。

では、大井石相 日東軍の 一番考になるで思ふ

弗平價切下に依る

今後の見透し

一度文文 一 宣武しをけ ふこさに依つてそれを下支 へる管であるから列國タロ へる管であるから列國タロ へる管であるから列國タロ

び英國の對抗散却何が問題して佛國の金本位の動向及

れ毎に就ては今のきころ大 した變化を生すべきものさ

切下の盆金

一十八億弗

財務長官發表

ー九路軍を

(大丁一日殿殿面) 三十一日

佛國各界で不評

到着した。二三日常杭州に 単良耳他多数の出頭へを受

米英為替の

「ワシントン一日發調通」モ

さなし、第七階軍さし毛維吾 「南東二日酸調通」南京政府 「南東二日酸調通」南京政府

幾後を正翻司合に任命した

鶴原機發見

安定交涉開始

ル大統領極力否定するも

質は目前に迫る

深寒院

和育聯銀

で、古七四三年を持ちて

は高原氏は濁化か に大阪調金)行方不明さなつ であた夜間銀り行方不明さなつ であた夜間銀り行方不明さなつ 川尻から二千米沖で観光。引 上けた機暇席には鶴原氏は見 へぬが。溺死したも、き観ら

三菱銀行

山室常務談

加级模能清洁

本年度上半期總額

一萬圓突破

順調の一途を辿る

満洲國の税收狀態

齋藤内閣存在の意義なしど

反政府的空氣有力

高門で二年度強非一億三千四 を高り、球に編税收入に於ては の常り、球に編税收入に於ては の

容易なものさ嫌想されてゐる 工二千萬頭以上の強非超過は 工二千萬頭以上の強非超過は

を表明してみない

めいぎしなった

中國共產黨

叉も蠢動開始

一五事件 後人心安定で政 男津化のために生れ、政策に就ては明詩しなかつ が交流を施設。燃料對販売全ならず農村問題にも冷淡であり、一枚看板の政界淨 化さへ類配問題で措頭される様ではその存在は重義なし、さ反政権的意見が である。 大香板の政界淨 であったが、 従来政府に好感を持つてゐた公正會の態度は貴族院 であら、一枚看板の政界淨 であられたのに関防第一主義を観得し年6

關直彦氏起つ きのふの貴院本會議とゝもに

き辛辣なる皮肉を飛ばし長廣 昭に首及。製鐵合同其雄につ

父如何なる準備を有するやの我國に及ほす影響如何!

任外交邓北镇特派員及署屬官 (委任二等)

をふるつたが時間の都合上

衆院豫算總會も不

平價切下 孫蒙首相 羽州ノア

て常は四十七分散者 で変に桁相より作群あつ で変し桁相より作群あつ

の質問を爲し零時五十分休憩せれより松山苦機村問題に就

招慧

間の意志なり

種々の経緯あるべく一方政

よの気温は最高電下九度1° よの気温は最高電下九度1°

一回决算数

我方から

大等)命詞局第二編動務 大場反之助 大場反之助 氏市假事領事務官(委任二等)命

特してゐるが、日本さして の上、傾重寺國と問題の性質は積極的に提案準備をなし 上海軍側の異見を拿重するさっ、九ヶ間條約参加調金部を 単純的見書 「一、九ヶ間條約参加調金部を 「単純的見書」

職相 日本さしては米英の 全から議論するのは夢のや が安定する様にならねば我 が安定する様にならねば我 が安定する様にならねば我 武田君・政府は我國の平價 切下けを如何に考へるや 従ふのみだ 進んで

日米軍縮豫備會商に對して

我海軍當局の意嚮

兩問題で連發

衆議院豫算總會

朱塔領事館動務(委任]等)命

を擁護するやうにして頂き たファッショの思想である たファッショの思想である は真に小さいこさで子供の 武田君米園の平價切下げ

當業者の申出を認めて

期稅收量等

一年度上半

實業部近く許可か く許可するこささなる模様でも な業者の中出理由を認めて近 事の増加方を観保電路に向け

程事內體體 收收 入人 發 發 和 入人 十二月卅一日 19年度 19年度上 10・九八 27、九八大 10・九八 27、九八大 10・九八 27、九八大 10・九八 27、九八大 10・九八 27、九八十 10・九八 27 1 10・九 27 1 10・九 27 1 10・九 27 1 10・九 27

運賃拂戻し

三十一日附を以て十二月分の (ハルビン園通) 満曜は北戦 請求を 一蹴

華北各軍將領

確實性ある學良の

剿匪副司令就任

逆捻ぢ

注目すべき

満鐡から

フを撤布するものあり、何れ し傷秘程に活動を開始した り、當地市内には白蓋不程ピ するさ共に、これが療法を組 た中國共産業補州省会は最近 月一日の大典を負にし侵然緊 が関連を開始せるものでは ほの色を示し「層質戒を敷に り、これが療法を組 である。 これが療法を組 のとを示している。 これが療法を組 のとを示している。 これが療法を組 のとを示している。 これが療法を組 のとを示している。 これが療法を組 のとを示している。 これが療法を組 日滿當局俄然緊張

北鐵問題は飽く迄 既定の方針で 歸賓の李督辨語る

作成、近く順係當島沼送附す よ具體の運動を開始すべく去 よ具體の運動を開始すべく去 機関を開始すべく去

商工管職所門に改立された東京の東京の大学社会のでは、日本の大学社会のでは、日本の大学社会のであります。

鐵道 東邊道縱貫

運動具体化す

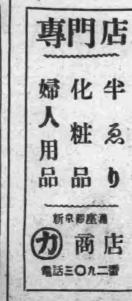
新京 寫眞協會

声方箋眼鏡鐘製

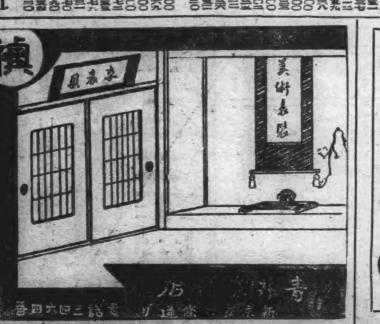
院院 金 原

倫を完全にし、種様の窓向で上、飛行機を急速に移轉し投 上、飛行機を急速に移轉し投 特には、 神台ノ無楽場度物帯弦ノカハ家県や計御好ニ港を建築 神台ノ無楽場度物帯弦ノカハ家県や計御好ニ港を建築 海を、演奏場、歌食店等)約四千甲房ドラ受クタルニ 新京副都建設島特別指定地(安建街) (料理店、停食、 婦人科科 土地所有者代理 発許 電話三一八〇香 狩野 善恵 醫院

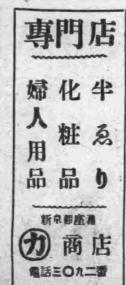
刺胆副司令就任説が略々確實 〔天津二日養國通〕張學良の





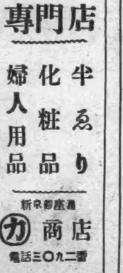












(=)

市中の賑ひ頂点に

映動班があるか、東 活の外が針、フ針、ユ 大朝、大朝、大郎

來る十一日午後一時より

人常金一国(但し婦人に限り五十組)當日持参のこと

後援

主催

粉京日日 新聞社

常に緊張し大活動を開始し

三月一日の曠古の大美を奉記 する新京特別市及び附属地の今せ會で長機的の決定を見る はずであるが、今回の会員ははずであるが、今回の会員ははずであるが、今回の会員として「「「一」の表現の機関は、二日大同族関に於けるとので、会共関体方面の奉記は、二日大同族関に於けるという。 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情望、ボスターを撤布して、 情報、ボスターを撤布して、 情報、ボスターを撤布して、 情報、ボスターを撤布して、 大祝賀舎の人に止め、 一旦には、 一 ので、市中側の服ひは裏點について、市中側でしては出来るだけ軽大にやりたい意穏を有してゐるので、市中側の服ひは裏點には花車を操り出して一段を異な流へるべく、三日の打合せを流へるべく、三日の打合せた事を決定した奉祀力法が判別を流へるべく。三日の打合せた事を流へるべく。三日の打合せた事を流へるべく。三日の打合せた事を決定した奉祀力法が判別

大典の大典を置こんで新派に進る

○ 本語の ・ 本 ・ 本語の ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本

侍ち乗ねる 素晴しい意氣込み

6別によりをかけて一さ除 市内タクシーを乗者達は今

部に分つて失々 ・ 國文解釋、國語作文、4 ・ 國文解釋、國語作文、4

四日だ十

で主將會翻の結果、來の以下一日中後市政会署の

加國政府に

新州総外変態に終ては昨年六 店間に親込み開始されたが部場別総外変態に終ては昨年六 古により九月二日以降電分の月18より満洲城内を旅行す 合により九月二日以降電分の月18より満洲城内を旅行す 合により九月二日以降電分の月18より満洲城内を旅行す 合により九月二日以降電分の月18よりでは、100円 外人に對して 時級東上する、因に出願期で 部かな玉維常氏が三日午前4 のかな玉維常氏が三日午前4

座讚會組合

『曖嫌を訪ねて

哀れなオシの青年

獨り身寂し、人生悲話

朝鮮から新京へ

かくて午後四時三十分散會し

家事講習所でも ア、組合員さ從事員の懸談

かるた會開催

全端大會を控へて 連日連夜猛練習

窓硝子を破壊して

かてである鍵は押流され喰みが昨年大洪水に製はれ生活の が昨年大洪水に製はれ生活の が昨年大洪水に製はれ生活の

に困りはてたが傾るものさてなくたつた一人の妹が新京になったことで値少な金をあった。 質のは二十七銭しかなく目下 同場で保護をなし各派出所に 手配をしたが求めてゐる妹金 ま分(一七)の所在は不明で同

満鐵社員會の

新陣容は整ふ

4、勉めて出席すること は要在駅を出すては十分 は五十銭の前金をさる は五十銭の前金をさる は五十銭の前金をさる ・ 選刺きに動しては十分 ・ 京園通り第常等日本の全観 ・ ここと得ず終席すること ・ 「一五大園園」 本る十四日(衛王)午後一時か 三日午前十時から東京地方数 来る十四日(衛王)午後一時か 三日午前十時から東京地方数 来る十四日(衛王)午後一時か 三日午前十時から東京地方数 来る十四日(衛王)午後一時か 三日午前十時から東京地方数 東る十四日(衛王)午後一時か 三日午前十時から東京地方数 東る十四日(衛王)午後 中央に反映されるが一世を響連れの観智にいさまがない 対決に反映されるが一世を響連れの観智にいさまがない 対決に反映されるが一世を響連れの展別に対する判決は意よ を見せる判決だけに頗る注目

理事會を襲ふ

日滿官憲思

共常に緊張

阿片密輸摘發の

報酬金は廢止

其代り待遇を改善

体験生活から見た 日満問題ご人類平和 常田口 省吾

の基本に対し、 の関係では、 の関係では、 の関係では、 の関係では、 の関係では、 のである。。 のである。 のではなりなりなり。 のではなりなり。 のではなりなり。 のではなり、 のではなり、

26 を知るない一般人は常に観私。 37 は従来同片の新輪。を摘使し、のかはもに収収官の待遇を攻 は、た場合は会養の規定により皆、善することになつた。なは概 を複勝金さしてるたが疑規定、 競を至り一目瞭然概案官であ を複勝金さしてるたが疑規定、 競を至り一目瞭然概案官であ を初るない一般人は常に観乱官、のかはもに収収官の待遇を攻 は従来同片の新輪。を摘使し、のかはもに収収官の待遇を攻

日本精神ではればいる。東洋、アベルをは、東大福州は、東洋、アベルをは乗りたる。東洋、アベルをは乗りたる。東洋、アベルをは乗りた。東洋、アベルの根本精神である此時の中に世界の人類を包含は大福州は、東に日本で大の形成できなく、京地では最高に、東地間に、南地であるのが此のできなった。

居甘消息

開店早々絶大なる好評を頂て居り

を具で厚さ五分の窓硝子を破した犯人は個(肥大の条例

十五日門司上陸後の

体育聯盟主催の 來る十

化のために世んで共産黨目 勝美に闘する

であるが、日前官数は しまかであるう。 のためにせんで共産業員 を記が、又は婦少婦係歴 かためにせんで共産業員 を記事務所地、力事務所では を記事を表示しているので係

審理漸く終る

もで行つたか こしゅでし

長野山には何のつも

勝美二十九日の午前二時頃

等件に動して次のや いが政府さ

天城縣)日出町

明持する地方的に構理され ▲大田養鵬氏 富士町三丁目十十名番地か68出町二十目十十名番地か68出町二十目十二番地へ 在職外第日 佐園町三丁目十二番地か6水町興安家へ 全在職外的氏 朝日通0四十七番地か6永製町三丁目十八番地の 大森邦弘氏 朝日通0四十七番地か6永製町三丁目十八番地の 大森邦弘氏 朝日通0四十七番地か6永製町三丁目九

日蓮字經王寺の

安部司郎君が参り指導致して居ります関理師は東京「大日本」鳥割烹場盟本部

御宴會に是非御利用を

ソ聯書記生重傷事件 大連から錦町 色の覚吁のへ

準水高最の界斯は材料

新京第一を誇る御座敷設 生粹江戶美人女中

味覺の 満ち溢る・!

御氣分を一 卓絶せる江戸前嗣型

充分満足する!

を収め顔を装含であつたの意気旺盛にして多大の効果

したが多数父兄其他一般の

最似する炭色塩

リングで見査氷上体育會を開四年街野常浜等小単校では二

兒童氷上体育會

一九三大年権るるに足らず的映畵の全貌見逃す勿れ川

日猶人全感が見るべき國家

こが来るさ、ご尤もな話。 でかんして、 でも大して打撃がなく、 でも大して打撃がなく、 でもは思いない 関係さして取り入

勝ま心地よく二重底の中間に 就習重底になつてるて非常に 英國では目下新紫卒気靴が大

海の外から

頗る好人気である

体見物で

気を注入するさい

ンプで通賞を

近づく曠古の御大典!!

別し「流石に三中井」さの御信頼を深めて散き

フロックコート

七五:00-1大0,00

五八四〇〇一1110

九0,00-100,00

モーニング三揃

奉仕第一主義に使る戦脈加工仕立價格に萬金を

ます機周到の用窓さして脚下命を即待ち

禮服の御新聞にはゼヒ三中井の

特別禮服大率仕を御利用下さい

のは幅は内鬼は外さやつてものわけを導ねるさもつさるかづく風がある。さいてながく風がある。さい

語は経小倉市の 高は経小倉市の 高は がある。これは

さ秋で冬なごの悪節の變る時であるが

街ほ 拳天省主 催の下に 去る 計帳簿心裁機式等を器習した 計帳簿心裁機式等を器習した

由

一齊にこれが検汗を行つたが 終て石灰販費の配達車に就て

は一日午報九時

る三日順四季街浦洲街商務一月三十日より二月一日に

をいつたもので後には輩に

を開するやりになっ

の習慣は古くからあつたものでこれにも一種の迷信があるでこれにも一種の迷信がある 江戸時代には年男が例の「福 は内、鬼は外」さ叫びながら かに大豆を炒つて座敷に撒 いて夜に入つて一家画樂豆を をは豆様だけであるが豊は節日 は豆様だけであるが豊は節日 さいつて気候のうつり目の不りをおいまその災禍を免れんこの意味で祝ひをのため節分の の意味で祝ひをのため節分の

説によるさこの節分に豆を 心でそれで全身を摩したも 院権したが受職者三十務職係者の財政事務職 終始難心にして相當の効果を 待望の大海戦名映畵

敵は太平洋

本社後援で愈よ三日から

一萬七千人を紹ゆ
一萬七千人を紹ゆ
一萬七千人を紹ゆ
一萬七千人を紹ゆ を誘め護れ段等が源の集命 に波側面々たるスパイ戦! 壯烈なる四中戦リ

脳は何識更に問ふ来たるペー級が旧事が出るとに足らず!! 見よ た、駅は太平洋上だ11金土を 単けて最悪の渦が巻く、出征 だ11地紀だ11 だ11地紀だ11 だ11地紀だ11 だ11地紀だ11 が夏太島からは、久住大尉 高数曜上官二人が、島を揺がす は21、人が、島を揺がす は21、人が、島を揺がす は21、人は大尉 で リートー マット カー・ 一 を トートー 主演 エドワードロピッソン カタデョハン のの信楽報音)

に懸忌した、そこで女房は豆 守中に鬼がしのび入つて女房 守中に鬼がしのび入つて女房

亭主が出雲

た他りは節分の

これから節分の豆撒が起つた意からいた、そこで女房は豆

決死的な背險撮影は感滅さ昂へる虎砂さ人間の死の単詞だ 海の生命線

さつては珍しいものばかもでの娘の吹歌等。 丹々前州人に これ亦好評 東京大学 八時三〇分

に充分であるが初日一日は<u>番</u>に充分であるが初日一日は<u>番</u> 八時三一分

一月一名より午後 五神叫〇分の高語の ユースを削除く ・ニュース ユース さす Zathermannementermentermentermenterment.

茶簞笥 常

性 內 痔疾科 小兒科 モヒ

隨時往診應需 人院隨意 您話三七五六春 日本橋通郵便局前 中毒

服は 禮 迅速: 叮膝、スマートをモフトーさし! 有道公司~! 得耽語下されば直に店員側何ひ致します 般洋服 防寒帽、各帽子

五 • 讀 ナーナショナル特作 全酸盤日本版

ガ

松濤遊告く太洋の真贝中に俄へる虎紋を人間の死の爭勝だ決死的な

販賣、其他電氣工事一般 電電 が 電気器具材料電電池並二充電、電話、消電 か ラヂオ カ 電話、消電 が ラヂオ 營 大通電氣工業監會社 科 B

獨特の工夫を概 □電話の御用一切は

午後五時 〇分 子供 五年三〇分

五特四五分

大時 〇分

ナショナル特作

電話二一三五番

では、 をたて、 なたでもた。 をたて、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をに代交よ断犯の日、 をいて、 をに代交よが、 でもなが、 代もに のが、 をのが、 をのが、 をのが、 をいて、 のが、 をいて、 のが、 をに代交よが、 のが、 をのが、 をして力の がのが、 をして力の がのが、 をして力の がいてものが、 をして力の がいてものが、 をして力にのが、 をして力の がいてものが、 をして力の がいてものが、 をして力にの がい、 をして力にの がい。 をして大めの がい。 をして大めの をして大めの をして大いの をして、 をし

大豆出廻打合せ

數名人用)

(日補外交員

教時登洲

、、、、、、満

易支那語會話(非四學是支

四

間

◇後援

日

新

聞

社

階階下上

七九

++

發錢

△普通入場料

同 大時二〇分 (會話) 無師 (自話) 無師分 (自話) 無師分 (自話) 無師分 (自話) 無師分 本計奏 (編語) 演奏(編語) 本語(編語)

新京東二條頭頭 滿州語學研究社(明)(三僧)論領病境西

で技断三丁目(一条機語)

道 司

ク (虎鮫) 會 映上夜晝 B 京 新 B

讀者優待券 曹揚 断京中テマ 柳京日日新聞社

日 帝神多のカロ大人に限り

待

映

大

讀者優待券 本券持参の方は大人に服り を五十銭 · 被引日日新士士

B

京

□好機逸せず▽本券を御利用願 ひます口

月

五十餘豪見よ 肚 烈なる空中戦!| 豪快を揺む る大海戦!| 更に波 開

機たるスパイ戦!登山延人員一萬七千人を超の空前未會有の豪壯

原植牧百隻堂々海を取し、伽墨橋、歌間橋、偵察橋、攻撃橋、橋敦

敵は太平洋(大海戦映画)

封切

A年詳上 妖震渦巻き孤立日本非常時の際致で此の大雅収映画を排ぐ

履裝用品賣出し

シンノ、ハフト……三宝園00

白キャラコワイシャッ

生みの母師の王校さんを内閣の女 党との智院院の寺中にはお野県の 党との智院院の寺中にはお野県の

をうつちゃつておいたのを、人気

があんな態になったので

「疾村機この形は前人から買っ

のへおいたの母師の玉枝さんを取ったしてある騒響和尚と異像とが野歌づくなの。 はしれたこと、のみならず屠勝和。

らったのは自山原之間なのですか しおらせするのが強れて、お野田

お春の在所探索(記)

作の工夫をせればなりませた。

の名は似もさいてある。鬼のでう

してお程度をかどはかしたので

たうぞんじます。

なら、どんなことでもさして残る

「もし私でお聞に合ひますこと

兵局へと不眠時れゃらぬ配待で数が派はその脳へ現はれてきた

女をつかつて何か影響を立て」見

音兵がはつぶそいてお窓の顔を

てるたお母が口を出した。

其機にさつきからだまつて四へ

(地地)

田

日; 本:

0

三人中四人の呼ではできませうから

三拍子精つた東幕官員館を川

直到而二丁目(甘栗太郎将)

一五〇番

炭融资末

田

麵

双美寫眞

てゐると知れば、断り込んでも弱 まくぞんじをるし、神山橋の蛇へ 「鬼骸なれば朏者とて役柄の表 性鬼臓はしば(出端入りいたし であらはれてゐた。 相違いざいません」 数えるの既比に逃断なめ心の四 そんな手荒い芝居を打たしたに 育民間はお釈をいる出す工夫が

西郷で左前門がきつばりと自民 交って、春村野之本や、同志の日 かりして、音風がはじめお起と へられた十字火お様は、どうして 心海の一方の門がお称すくひだし

美美洋

術術髮

フリー

ジャ美容室

中央擴大阪馬雙與橫町常磐町一丁目八地崩

爪頭

春 0 安くてし

と可り合うてをります。こりや吃

こまれれ

だき込み、きらして原像を見込んというないのである。こりやで たとはよしんは種のらうに入れてたとばよしんは種のらうに入れて 宗兵衛さんに相関しに行かれる会 おかうとも今夜中に取返して見せ 中でこんなことになったんですか



表帆出期定月二船絡連滿日 うすりい丸 丸丸 庭ばいかりいれた たここ まんれ かりいれれれ はるびん丸 恵米利加丸 うらなびん丸

七三一四話 電 通際山市連大 九八〇四 話 電 通照代子天事 六一二二話 鼠 通 英甲京新 船 商阪

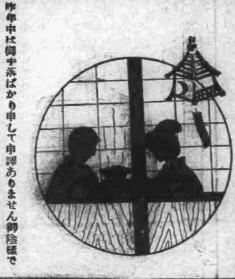
廣告の御用は

電話三二〇〇

个春流行新柄 豐富着荷陳列 **公村岡吳服店**

御旅行者及一般の御便宜を計る為左記取扱を致しますから御利用願ひますから御利用願ひますから御利用願ひますがら御明別を記述。 一 前り取及配達 留 小 荷物代理 ・ 一 前り取及配達 日の節は電話が葉書にて左記に申込み下の節は電話が葉書にて左記に申込み下 中央通十一番地 内容を一新致しまして管護力の静気に召す維勢のよ 昭和九年の新春を迎へるせて明きました新春で同 わります……さぞかし多事多幅の事で存じます何年御内容を一新致しまして智様方の期間に召す議勢り中で

東世を御川談に マラ 見捨てなく幾久しく御引立の思御嗣致します 野学 华





地番八目丁一町樂水京新

籍 官 衙 平 是 女中數名入用 通遼ホテル





會席御

御宴會 引

社

L ž

t 1

受け

L 强

會科語

0

食料品を

貨

は

市

場

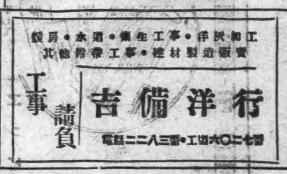
配達は飛行式

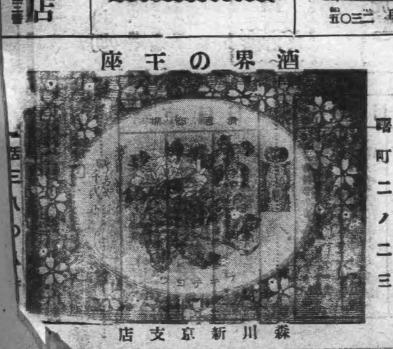
章話三三四三

日華洋行へ









仁和群

至午後五時

日曜紀日

節三軒食精

台 院 時間 時間 時間 山二丁目 電話三二九六番

各種印章附屬品 吟味堂印章部 * * 東三條頭[][]





